

新人作家の登竜門  
九州芸術祭文学賞

九州芸術祭文学賞(財団法人九州文化協会主催)は、新人の優れた文学作品を発掘し全国に広く紹介することで、九州文学界に刺激と活力を与え地域の文学水準を高めることを目的に昭和45年度から実施されています。今年度で36回目を迎える歴史ある文学賞です。

九州・沖縄地区では唯一小説が公募される文学賞であるほか、この文学賞における最優秀賞受賞作品は全国誌で紹介されるため、中央文壇への登竜門とも言われています。過去の最優秀賞受賞者には、芥川賞受賞者(第8回最優秀賞受賞者・又吉栄喜氏、第27回最優秀賞受賞者・目取真俊氏)もいます。

平成16年度は、本県からは27編の応募がありました。

平成17年度も作品を募集します。みなさまのご応募をお待ちしています。

第36回『九州芸術祭文学賞』(沖縄地区)  
応募要項(概要)

- 1 応募資格 沖縄在住者に限る。
- 2 応募作品 小説。未発表作品一編に限る。同人誌を含め既発表作品は不可。
- 3 応募条件 400字詰め原稿用紙55枚から60枚まで。原稿は返却しません。
- 4 原稿締切 平成17年8月下旬
- 5 原稿送付先 沖縄県文化環境部文化振興課 『九州芸術祭文学賞作品係』 〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2

入選作品発表

地区優秀作品 10月下旬頃発表。地元各新聞、雑誌に掲載する予定  
最優秀作品 平成18年1月下旬発表、文藝春秋社発行『文藝春秋』平成18年4月号に作品掲載

賞金など

最優秀作品には賞金30万円を贈呈  
地区優秀作品各編には賞金5万円、次席各編に2万円贈呈

<受賞までの流れ>

九州各県、北九州市、福岡市の10地区で地区審査を実施

優秀作品各1編、次席各1編を選出

10地区の優秀作品10編の中から最優秀作品を1編選出

お問い合わせ

(財)沖縄県文化振興会(かりゆし芸能公演)  
TEL:098-867-6639  
県文化振興課(九州芸術祭文学賞)  
TEL:098-866-2768

民俗舞踊

各地の祭り等で行われている古来から伝承されている踊りのことで、エイサー、獅子舞、クイチヤーなどがあります。



琉球民謡

沖縄の人々の日々の営みや喜怒哀楽を歌ったもので、今日でも三線の調べに乗せて歌い継がれています。



伝統芸能と  
ジャズ・ロックの共演

公演ジャンル拡大の一環として、琉球伝統芸能とジャズ・ロックの共演を企画しています。昨年は、癒しの島々琉球弧に伝わる歌と踊りと祈りを題材にしたニライカナイ伝説を公演しました。



古典舞踊

琉球王朝時代に、中国から冠船に乗って渡来した冊封使をもてなすため「踊奉行」を設けて披露された舞踊や芸能のことで、御冠船踊とも言われます。主なものに「四つ竹」「かせかけ」「瓦屋節」等があります。



雑踊

明治の廃藩置県後に踊られた、軽快な身のこなしの踊りで、農漁村の庶民の生活や感情をモチーフに表現されています。主なものに、「黒島口説」「加那ヨリ天川」「浜千鳥」等があります。



創作舞踊

歴史と伝統に培われた先人達から受け継いできた伝統を踏まえつつ、近代から現代の舞踊家が新たに創造する踊りのことです。



かりゆし芸能公演は  
毎週金曜日に  
変更になりました。

沖縄県立郷土劇場で行われているかりゆし芸能公演が、今月から毎週金曜日に変更になりました。従来、火曜日に行われてきましたが、より多くの方々に鑑賞していただけるよう開催曜日を変更しました。同公演は、平成5年度からこれまでに多くの若手舞踊家等が出演し、約十六万人の方々に鑑賞いただいで

おります。演目もこれまでの古典舞踊、雑踊、創作舞踊に加え、舞踊劇、組踊抜粋、琉球民謡、沖縄音楽等を織り交ぜ、多彩な沖縄芸能を紹介していきます。また、前期と後期の公演の中から最も人気の高い演目を中心に、春と秋に特別公演を開催します。

チケットの販売も、那覇市内プレイガイド・県内主要ホテルに加え、チケットピア及び県内ファミリーマートで購入いただけます。さらに、入場料も団体割引(十名以上)一、六〇〇円、学生割引一、〇〇〇円も設定し、大変お求めやすくなっております。今後、かりゆし芸能公演がより楽しいものとなるよう様々な取り組みを行います。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

かりゆし芸能公演